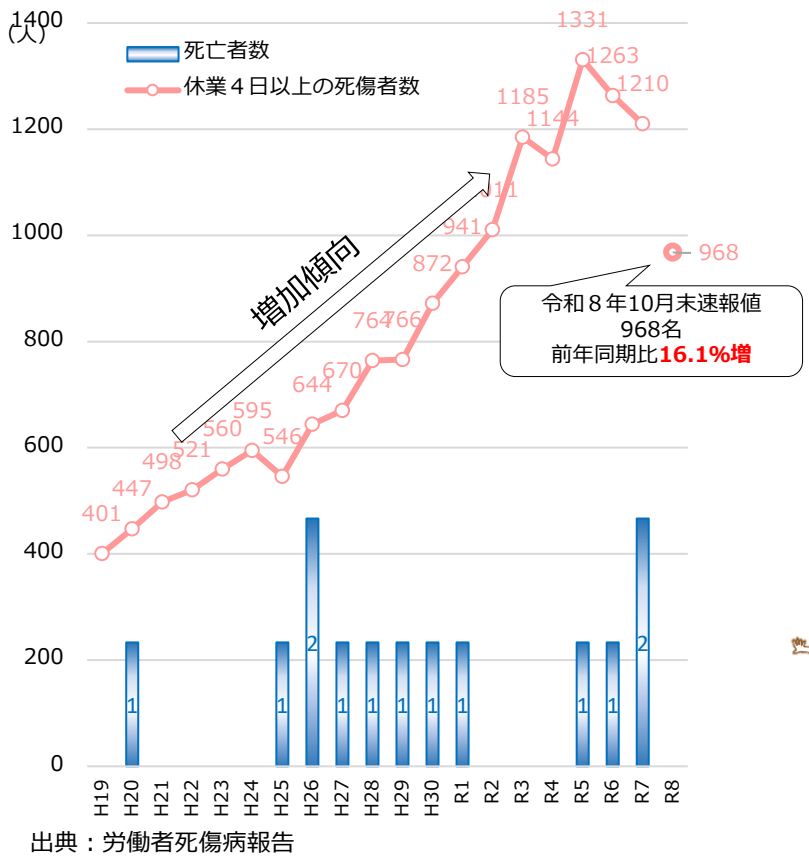
社会福祉施設の労働災害の状況と対策

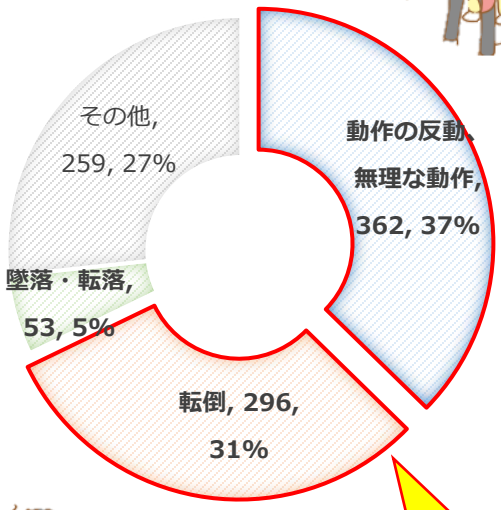
〈社会福祉施設の労働災害の推移〉



出典：労働者死傷病報告

〈事故の型別〉
（令和８年10月末時点）







腰痛等と転倒で、
全体の約３分の２

（その他）
- ○ 腰痛等動作の反動・無理な動作が前年同期比で24%増加、転倒が年同期比で25%増加
- ○ 介助中の腰痛等動作の反動・無理な動作のうち176名（55%）は50歳以上。
- ○ 転倒のうち207名（81%）は50歳以上。転倒のうち135名（53%）は60歳以上。

労働災害防止対策

腰痛等

介助作業で発生
（**人力での抱え上げ**で発生）
経験３年未満の被災者が多い



☑ノーリフトケア
『抱え上げない介護』の実現
☑福祉機器・用具の使用の徹底
環境整備と一人一人の意識改革
☑腰痛予防の教育の実施
作業姿勢、福祉機器の使用等
☑体操の実施
☑作業マニュアルの作成、周知



転倒

高年齢者の被災者が多い
骨折等により重篤化することを認識
出張時も注意が必要



☑労働者しか立ち入らない場所の点検
（事務所、駐車場、倉庫、厨房等）
☑水気の除去、段差の解消
☑４S（整理・整頓・清潔・清掃）の徹底
☑滑りにくい履物の着用
☑作業前の準備体操
☑身体機能の維持、向上
☑自転車の安全運転

